



12/23 地方創生へ高校生のアイデア光る



「地方創生☆政策アイデアコンテスト」（内閣府主催）の高校生・中学生以下の部で、新居浜商業高校商業科の生徒4人による「NCガールズ」が優秀賞などを受賞しました。

コンテストは地域経済分析システム（RESAS）などを活用し、地域課題の解決に向けた政策を提案するというもの。4人は大島の活性化に向け、希少性の高い「七福芋」を活用したアイデアを応募しました。

メンバーは「応募に携わってくれたたくさんの人の協力があったからこそ受賞できた。人とのつながりの大切さを実感した」と語りました。

12/27 自治会活動で総務大臣表彰受賞



地縁による団体などの代表者として一定期間在職し、地域的な共同生活を通じて良好な地域社会の維持・形成に顕著な功績があった人に贈られる、令和4年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞した市連合自治会副会長・同理事・船木校区連合自治会長の星加勝一さんが市役所を訪れました。

平成13年に地元の自治会長に就任して以来、地域のために尽力されてきた星加さん。「いろいろなことがあったが、周りの皆さんの協力もあってやってこられた」とこれまでの活動を振り返りながら、受賞の喜びを語りました。

1/8 決意新たに「はたちの集い」



市民文化センターで「はたちの集い」が開かれ、晴れ着姿の参加者が決意を新たにしました。

1/8 新居浜を満喫、移住体験ツアー



子育て世帯の移住促進を図るため、地方移住を検討している大都市圏在住の子育て世代をメインターゲットに、参加者の希望に応じて日程を組む「オーダーメイド型移住体験ツアー」が開催されました。

1月7日から2泊3日で、2家族が参加し、保育園やマイントピア別子、海辺のカフェなどを訪れました。2日目には、先輩移住者と昼食を取りながら交流を深め、さまざまな情報を収集。ツアー参加者は「自然が多いのが魅力」と語り、移住に興味を示していました。

1/13 若者が求める旅のプランを提案



愛媛大学社会共創学部・井口研究室所属の大学生13人による「#にいはまとりっぷ 若者が提案する観光のカタチ」があり、10代～20代前半の若者が求める旅のあり方を発表しました。

学生たちは「コロナ禍を経て、近場で気軽に楽しめる旅を求めるようになった」と指摘。非日常を体験しながら、映える写真や面白い動画が撮れるかどうかのポイントになるとしました。

体験スポットやご当地グルメを盛り込んだモデルコースを提案。生活文化や体験を重視した観光コースと、その味わい方をデジタルコンテンツの発信の両方が必要だと強調しました。

1/17 今、高校生の私たちに何ができるのか



高校生ボランティアサークル May が主催するイベント「第7回私たちが創る未来へ」の開催を前に、メンバーらがイベント紹介のため市役所を訪れました。メンバーたちは「高校生ならではの視点で、私たちに何ができるのかを考え、企画から運営までを実施するイベントです。ぜひ多くの人に参加してもらいたい」とイベントへの思いを語り、参加を呼びかけました。

イベントは1月29日(日)にあかがねミュージアムで開催。VR体験やワークショップ、絵画展、未成年の主張、映画上映などさまざまな催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

1/27 かのんまい 花音舞さん セルビアで美声披露



宝塚歌劇団宙組に17年間在籍し、2021年に退団した花音舞さん(本市出身)が、日本・セルビア共和国国交修好140周年記念するアニメコンサートの出演報告で市役所を訪れました。

花音さんは現地の国立劇場で3公演行い、「日本のアニメが大人気で、歌いだしたら一緒に口ずさみながら聞いてくれた。現地の大学で日本文化を伝える特別授業も行った」と笑顔。花音さんは子どもたちに向け、「目標や理想があるなら、絶対なれないと思わず、まずはいろんなことにチャレンジしてもらえたらと思います」とメッセージを送りました。

1/30 佐々木陸さん 歌手活動を本格始動



2021年、EXILEのATSUSHIさんによる「夢応援プロジェクト」でグランプリに輝いた佐々木陸さんが今春上京し、ソロアーティストとして本格始動します。

佐々木さんは地元企業で働きながらオーディションに挑戦。ATSUSHIさんの全国ツアーに同行し、昨年12月からは「まず地元の人たちに知ってほしい」と市内でライブを行ってきました。

上京後は、ATSUSHIさんと共に楽曲制作することが決まっています。佐々木さんは「地元の人々から愛されるアーティストになれるように一生懸命頑張りたい」と語りました。